

平成28年4月1日施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」をテーマとし、教育・医療・福祉の分野において、それぞれの立場より今回の法律についての考え方、取り組み等を発表していただき、市民の方々等に広く知ってもらおうと同時に意見交換を行います。

精神障害者の就労について一緒に考えましょう

我が国では、障害者権利条約批准のために、障害者基本法の改正（2011年8月）や障害者総合支援法の成立（2012年6月）、障害者差別解消法の成立、障害者雇用促進法の改正（2013年6月）などの様々な制度改革がおこなわれました。今回演者は、「精神障害者の就労」に関する研究を実施したので、その調査結果を報告します。調査は精神障害者と雇用主の双方を対象に実施しました。具体的には、①精神障害者を対象に職場で体験した stigma に関するインタビューを実施し要因を分析しました。②事業主を対象に「統合失調症者雇用に関する意識調査」を実施し、演者が作成した「雇用促進を目的としたプログラム」を視聴してもらうことによる効果を検証しました。当日は、本テーマに関心のある皆さまに多数ご参加いただき、参加者とともに「精神障害者の就労」について考えていきたいと思っています。

東北大学大学院医学系研究科保健学専攻看護学コース

精神看護学分野 准教授 吉井 初美



平成3年東京都立大塚看護専門学校卒業
平成18年新潟大学医学部保健学科看護学専攻
地域・精神看護学講座 助教
平成23年新潟大学大学院医歯学総合研究科修了 医学博士
現在は東北大学大学院医学系研究科保健学専攻
看護学コース精神看護学分野 准教授

解消法が私たちにもたらすもの～当事者として地域の 一員として～

国連の障害者権利条約批准に関する最後の法律「障害者差別解消法」施行にあたり、私たち当事者として何ができるのかを、自分の体験を通して考えてみたいと思います。また、仙台市でも法律に関連する条例整備が進んでいますが、地域の一員としてその現状と課題についてご紹介します。

NPO法人 ゆにふりみやぎ 理事長 伊藤 清市



先天性二分脊椎症で車いす生活を送る。1995年、東北福祉大学在学中に仙台ふくしまップ作成委員会を立ち上げ、友人らと仙台市内のバリアフリーマップを出版。現在、その流れを汲んだNPO法人ゆにふりみやぎ理事長兼仙台バリアフリーツアースセンター代表として多くのバリアフリーコンサルタントを務める。東北学院大学経済学部非常勤講師。一般社団法人仙台さわやか福祉会理事。とっておきの音楽祭実行委員 SENDAI 実行委員長。精神保健福祉士。社会福祉士。

特別講演

障害のある人々への合理的配慮：教育におけるテクノロジー利用の観点から

障害者差別解消法の施行を4月に控え、本講演では「合理的配慮」のあり方を考えることを目的とする。障害のある児童生徒・学生とともに合理的配慮のあり方を探索してきた東大先端研 DO-IT Japan (<http://doit-japan.org/>) の取り組みから、肢体不自由や感覚器障害、発達障害のある子どもたちにも共通して見られる教室での読み書きの困難、受験時の困難、通学の困難などを例として取り上げ、具体的な合理的配慮の実例を示すことで、その背景にある考え方について理解を深める。



東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野 准教授 近藤 武夫

専門は特別支援教育（支援技術）、発達神経心理学。東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野 准教授。博士（心理学）。DO-IT Japan (<http://doit-japan.org/>) ディレクター、米国ワシントン大学 DO-IT Center 連携研究員。一般社団法人日本LD学会理事、一般社団法人全国高等教育障害学生支援協議会業務執行理事。文部科学省「障害者差別解消法に関する調査研究協力者会議」委員。広島大学教育学研究科助教、米国ワシントン大学計算機科学工学部客員研究員を経て現職。多様な障害（特に学習障害やADHD、自閉症スペクトラム等）のある人々を対象に、教育や雇用場面での支援に役立つテクノロジー活用や合理的配慮のあり方に関する研究を行っている。著書に「知のバリアフリー（2014年、共著、京都大学出版会）」、「情報社会のユニバーサルデザイン（2014年、共著、放送大学教育振興会）」、「発達障害のある人の大学進学（2014年、共著、金子書房）」、「発達障害の子を育てる本ケータイ・パソコン活用編（2012年、監修、講談社）」、「バリアフリー・コンフリクト（2012年、共著、東京大学出版会）」等。

第7回 こころやフォーラム「障害者差別解消法がはじまります」共に考える～教育・医療・福祉の立場から～参加申込書

申込先：NPO法人 博英舎・こころや（FAX 022-728-8156）

電話022-728-8343 E-MAIL:kokoroya-30@f-n.ne.jp（申し込み〆切 2月18日）

	参加者氏名	ご連絡先	車イスのご利用	懇親会（会費2000円）
1			あり なし	参加 不参加
2			あり なし	参加 不参加
3			あり なし	参加 不参加

お電話、メールでのお申し込みもできます。参加費、懇親会費は当日に会場受付でお支払いください。